

(株)まるつね (H18年度承認)

所在地 壬生町壬生甲3491-2

代表者 代表取締役 戸崎 泰秀

資本金・従業員数 16,000千円・36人

事業内容 乾物卸売業

TEL 0282-82-0224 FAX 0282-82-0240

URL <http://www.fmpm.co.jp>

経営革新のきっかけ

仕入れて、袋詰めして卸すだけの業態では、消費者に自社の強みをアピールする手だてがなく、価格競争に陥るだけであった。

そこで、食の安全・安心が求められる時代に、生産者と強い繋がりを持っているという強みを活かし、新たな仕組みを構築して弱点を克服しようと決意した。

経営革新計画の概要

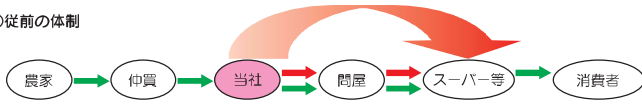
「業界初トレーサビリティシステムの導入等によるブランド力の強化」～新生産、販売方式の導入～

当社は仲買から仕入れた農産加工品を小袋詰めにして販売問屋に卸す事業を営んでいるが、他社製品との差別化を図ることができないことが課題であった。

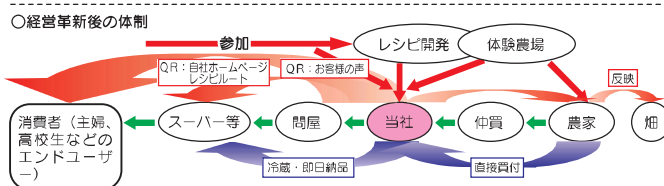
そこで、畑の土づくりから冷蔵庫の保存期間、気温による物流管理の違い、出荷時間などの情報がリアルタイムで検索できるトレーサビリティシステム「畑の履歴書」「磯の履歴書」を開発した。

今後は、このシステムを当社の高付加価値商品に導入して商品のブランド力の強化を図るとともに、農産物の生産、加工、物流までを自社で一括管理するシステムの確立や商品を使用した調理レシピの充実などにより販路拡大を図って収益の向上を目指す。

○従前の体制



○経営革新後の体制



▲「QRコード入り商品」

計画の取組状況、成果等

従来の概念を打破した乾物の低温管理輸送システムの確立等により、商品への安心を高めることができた。また、これらの商品製造、流通等の情報や高校生との連携により開発したレシピを商品に付けたQRコードから得ることを可能にした。

現在、報道機関を活用したマーケティングにより、引き合いが急増している。

活用した支援策

- ・政府系金融機関による低利融資
- ・設備投資減税（予定）

社長から一言 ～経営革新に取り組む企業の皆様へ～

自社の将来像やお客様が喜んでいる姿をイメージしながら楽しく計画をたてることができました。また、計画を実行していくことがとても刺激となっており、自社の推進力となっています。